

第 32 期東京都立図書館協議会について

1 協議テーマ（案）「多様性と社会的包摂」

第 30 期協議会提言「都立図書館の DX とその先にあるサービス」では、「目指す都立図書館像」を「いつでもどこでも誰でも利用できる図書館」とした上で、「図書館における DX による利便性向上」「利用者の変化に応じたサービス」という 2 つの観点から提言が行われた。

この内、「利用者の変化に応じたサービス」の観点では、状況により図書館利用が難しい利用者群として、「図書館利用に障害のある人々」、「日本語以外を母語とする人々」、「高齢の人々」、「働く人々、子ども・子育て中の人々」、「学校教育を受ける人々」の 5 つの類型を設定し、多様な背景を持つ人々に対して、ユニバーサルデザインの視点も踏まえ、デジタルの力を借りてサービスを届けるための取組が提案された。

都立図書館では、こうした提言等を踏まえつつ、取組を進めてきたところであるが、近年、外国人住民の増加・多国籍化や多様性・包摂性のある社会実現に向けた動きが進展しており、「2050 東京戦略～東京 もっとよくなる～」(令和 7 年 3 月)において、「ダイバーシティ」が「東京の未来をつくる 3 つのシティ」の一つに掲げられるなど、多様性と共生を重視する社会の実現が一層求められている。

以上から、第 32 期東京都立図書館協議会においては、母語とする言語や障害の有無、一人ひとりが抱える事情に関わらず、誰もが積極的に利用したくなり、多様な人々が共に学び合う都立図書館の実現に向け、解決すべき課題や取り組むべき方策などを整理・検討する。

2 協議の方法

協議内容に応じ、委員の知見を披歴する場を設ける。また、必要に応じて作業部会の設置等により、定例会以外に提言とりまとめのための資料調整を行う場を設定する。

3 協議スケジュール（予定）

年月	定例会	作業部会等
7 年 度	第 1 回 協議テーマの決定 協議の進め方の決定	
	8 月	
	9 月	
	10 月	
8 年 度	11 月 第 2 回 令和 6 年度東京都立図書館自己評価 委員からの報告（1 名程度）	
	12 月	
	1 月	
	2 月 第 3 回 委員からの報告（2 名程度）	
	3 月	
	4 月	
	5 月	
	6 月 第 4 回 委員からの報告（2 名程度）	
	7 月	
	8 月	
	9 月 第 5 回 提言案について	
	10 月	※必要に応じて提言とりまとめのための 資料調整を行う場を設定
	11 月	
	12 月 第 6 回 提言案について 令和 7 年度東京都立図書館自己評価	
	1 月	※必要に応じて提言とりまとめのための 資料調整を行う場を設定
	2 月 第 7 回 提言の確定	
	3 月	